

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月11日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	指宿市役所	代表者名	豊留悦男		
担当者部署	健幸・協働のまちづくり課	連絡先電話番号	0993-22-2111		
担当者役職	主任	担当者氏名	前田 伯	連絡先E-mail	
住所	891-0497 鹿児島県指宿市十町2424番地				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	指宿市役所が地域情報化を考える上で、必要な考え方や組織の在り方などをご教示いただけたため。また、組織的な対応も必要であると具体的に考えるきっかけをいただけたため。
アドバイザーへの要望事項	総務省の地域情報化アドバイザー事業のみならず、今後ともご教示いただきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月1日	13時00分	17時00分	10	230
3-2. 派遣場所	会場名	ふれあいプラザなのはな館		最寄駅	指宿駅
	所在地	鹿児島県指宿市東方9300番地1		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	講演(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	行政職員	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	地域全体でDXを行っていくための意識の醸成を図ることの難しさを感じていた。市役所内部でも「IT化」と「DX」の違いなどが、明確に理解が図れていないこともあるため、まずは、その意識の変革を起こしたいと感じていた。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	行政内部のDXに関する動きにつなげるための意識の変化を起こしたい。IT導入は、手段であり、目的ではないということを意識し、考え方をイノベーションして行政サービスの向上を目指す職員を一人でも増やしたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	令和3年4月の組織再編の際に、「ICT推進係」が創設されたが、システム管理を行う部署とDXを行う部署が、同一の組織となっていたことから、「ブレーキ」と「アクセル」が混在しているような状況であるため、DX推進は難しい。まずは、その2つをしっかりと分けて、役割を明確にすることが組織のあり方としては必要である。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	アドバイスを受けて現状の組織の在り方や目的の見直しを行う必要があるという意識になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	市民向けの意識改革や今後の社会の変化等は、第3日目に持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートでは、現在の考え方を変化していかなければならないという意見があった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	ICT推進係とは別のDXに関する部署の創設の検討	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

